

村の主人公は住民です  
皆さんのご意見・ご要望  
などお寄せ下さい！

# あしたば

日本共産党利島支部機関紙

<知は力> 内容が豊富で、読みやすく面白い  
「しんぶん赤旗」日曜版をご購読下さい [月930円]

号外  
2020年9月5日 発行  
発行者 日本共産党利島支部  
笹岡寿一  
〒100-0301  
東京都利島村850番地  
電話 04992-9-0191  
Eメール・アドレス  
to\_sasaoka@yahoo.co.jp

## ひきつづき



村議会議員  
ささおか

## 笹岡 寿一

としかず

### 皆さんの声村政に届ける 議員としてがんばります

前回の選挙で多くの皆様のご支援をたまわり、ふたたび議員として働かせていただけるようになりました。

長い議員活動のなかでは、ときにご批判をいただくこともありました。それを真摯に受けとめ、何事も皆さんの意見を聞き、相談しながら一緒に考えて取り組むことを大切にしようと思いがけてまいりました。

こうしたなか、この4年間は、島外通院旅費助成の拡充、拙速な太陽光発電計画の中止を求める署名、都立広尾病院の地方独立行政法人化反対の署名など、多くの方々と力を合わせて取り組むことができました。

私が長年一貫して求めているのは、「村民の声が届く村政」です。「村政は村の人々のためにある」——この信念をつらぬき、皆さんの声を村政に届ける議員としてひきつづきががんばってまいります。

略歴 1941年生まれ、79歳。1973年村議補選で初当選。村議通算9期。簡易水道や保育園の開設、結婚・出産祝いや奨学金制度の創設、子どもの医療費無料化、モノラック敷設などを提案、実現に関わってきました。

「あしたば」は私が初めて「あしたば」は私が初めて村議会議員になったときから、落選して議員でなかった時期も含め、休まず発行してきましたから、もう少しして半世紀を迎えます。村の発行する議会報よりはるかに早く、議会のようすをお伝えしてこられたのは、私の密かに誇りとするところです。

議会ではいま、インターネットを使った録画中継放送が検討されており、私もぜひ実現したいと考えています。それでもなお、村政の場で何が話し合われているかをわかりやすく伝える「あしたば」の役割は欠かせないと考えております。

今後も皆様のご愛読を願う次第です。

「あしたば」のバックナンバーは日本共産党東京都委員会のホームページでご覧いただけます。インターネットで「日本共産党 あしたば」と検索してみてください。

ごみ収集の変更延期に (経過は中面へ)

ご意見・ご感想、お困りごとの相談はお気軽に



## 皆さんと力をあわせ 実現めざしていきます

### コロナ 対策

大島でも感染者が確認され、新型コロナへの警戒は怠れません。国のコロナ対策「臨時地方創生交付金制度」にもとづく利島村に対する交付金(約4,500万円)を活用し、皆さんから寄せられている以下の要望実現に努力していきます。

- ① 全住民に対する速やかに判定できるPCR検査の無償実施。
- ② 感染防止策として、手消毒液と非接触型検温器の全所帯への給付。
- ③ 感染が疑われる人が出た場合の一時隔離施設の確保。陽性者の緊急搬送と収容体制の確立。
- ④ 全住民に生活支援金の一律給付と年収200万円未満の低所得者への一律加算給付。
- ⑤ 観光関連、農漁業事業者に対する支援助成。

### 島外受診 旅費助成

増額はされましたが、いまの助成額ではまだ不十分です。私は従来から 25,000 円を年6回まで給付するよう求めています。そのために必要な東京都による財政支援の実現にむけて、日本共産党都議団と力を合わせて奮闘します。

### カート 助成

村が購入して無償貸与する制度を提案しています。不要になれば次の人に貸し出しできます。既に補助金購入されている人の電動カートを買上げる施策の実施も求めています。

### 国保税 減免

所得の多い少ないにかかわらず一律に課せられる均等割部分(所得の少ない人には重い負担)を減額し、国民健康保険税の負担軽減をはかります。

### 椿産業 対策

近年急速に増えてきている放置林対策のため、ボランティア活用や賃金雇用による収穫作業体制のあり方を研究し、早期に体制を整えて「放置されている椿林の整備を図ることを提案します。公的機関の仲介による椿林地の転貸借などの研究も進めます。

### 防災通報 システム

IP告知端末機は便利ですが、災害時には光ファイバー断線の危険もあり、防災行政無線の拡充は引き続き重要です。新たに生じる費用負担の軽減にも取り組みます。

### 学校 支援

コロナ禍で学校もさまざまな影響を受けています。子どもたちの安全を守り、充実した教育を保障するための先生方の努力を、村としても最大限支えるよう求めています。

国民の命と暮らしを守る新しい政治へ  
笹岡寿一さんと一緒にがんばります



## 香西かつ介

日本共産党東京都常任委員  
(衆院東京3区予定候補)

村に提出した要望書 (日本共産党東京都委員会のホームページからご覧いただけます)



# ごみ処理計画

# 皆さんの声とどけ、実施延期に

## ただちに行動

ごみの問題は避けて通ることができませんし、村としても何とかしなければと考えてのことだと思えます。しかし、今回の計画が、住民の意見を十分に受けとめられないまま一方的に打ち出されたことに、最大の問題があったのではないのでしょうか。

村のなかを歩くと、多くの人から懸念する声が寄せられていました。その声はどれも耳を傾けるべき貴重なご意見でしたので、私は、ただちにこの声を村に届けました。

村が計画の延期を決めたのは、大変よかったと思えます。今回の経過を教訓に、村民の声に誠実に耳を傾け、その知恵を生かす村政を進めてもらいたいと思えます。私もがんばります。

### 7/16 村長に対する申し入れ書を提出

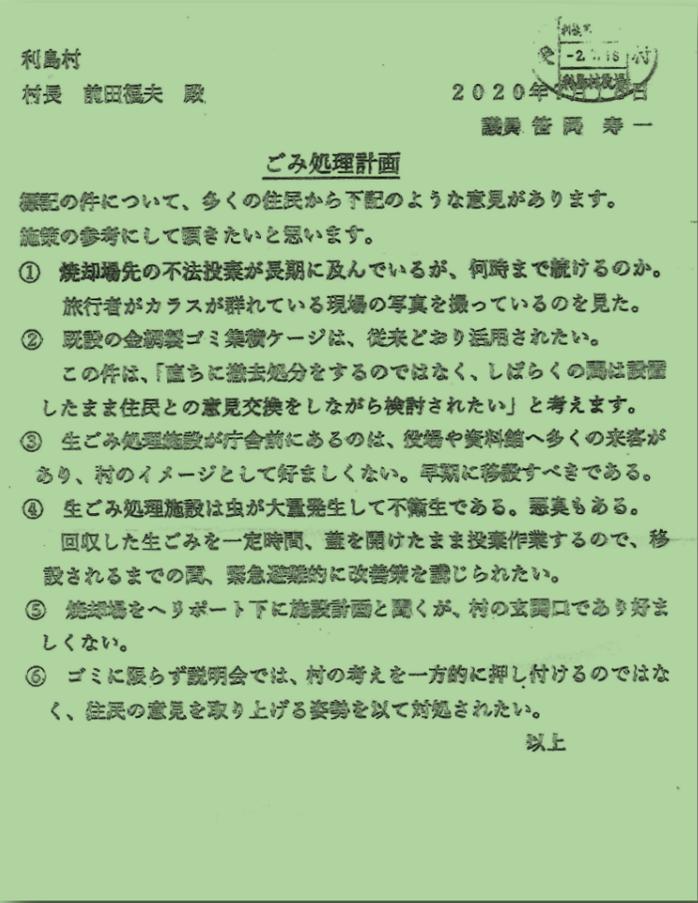
みなさんから出されていた意見を急いで文書にまとめ、村長宛ての申し入れ書(右→)として村に提出しました。

### 7/20 副村長と面談しあらためて要請

その後も村内を歩くと、「このまま実施したら村が混乱してしまう」と、事態を深く憂慮する声が聞かれました。私は村役場に赴き、応じた副村長にその声を率直に伝え、あらためて計画の実施延期を求めました。

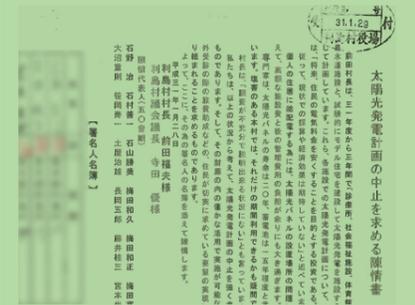
### 7/22 村が計画の延期を発表

昼の村内放送で計画の延期が発表されました。私は今回の村の対処に関して、村長、副村長に謝意を表明しました。



## 皆さんとともに歩んだこの4年

### 太陽光発電施設計画 圧倒的な反対世論で 強引な実施をストップ



100名以上の署名が集まり、強引な計画実施を止めることができました。

- 実現しました**  
**島外医療機関受診時の旅費助成増額**  
 1回5千円を年4回から7千円を年6回までに改定されました。
- 実現しました**  
**離島高校生修学支援金の増額**  
 月額3万円から4万円になりました。これは返済なしの制度です。
- 実現しました**  
**高校生までの医療費の無料化**  
 長年、実施を求めてきた子どもの医療費無料化がついに高校生までに。
- あと一歩です**  
 ①「敬老祝い金」の支給基準日を誕生日に  
 ②愛らんどシャトルチャーター便の搭乗賃に対する助成の再開  
 ③補聴器購入に対する助成  
 ④議会の録画中継放送の実施  
 これらは村も前向きな答弁しており、実現まであと一歩に迫っていると考えます。

## 笹岡寿一さんをひきつづき 村議会で働かせてください

日本共産党都議団は力を合わせてがんばります



東京都の担当者に島しょ地域の要望書を提出する笹岡寿一議員=昨年11月、都庁

椿の害虫対策や島しょでも心配される新型コロナ対策、そしていま私たちが奮闘している島外医療機関受診時の旅費助成に対する東京都の財政支援の実現に向けても、経験豊かな笹岡議員は頼りになる相談相手です。ぜひ、ひきつづき村議会で働かせてください。



東京都議会議員 白石たみお (品川区選出・日本共産党都議団政調委員長)